

**DOWA**

# 2013年度 決算説明会

**2014年5月12日**

**DOWAホールディングス株式会社**

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

---

# **1. 2013年度決算の概要と 2014年度の見通し**

# 損益の状況

## ■ 連結損益計算書

単位：億円

	2012年度 実績			2013年度 実績			比較増減					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
<b>売上高</b>	<b>1,932</b>	<b>2,261</b>	<b>4,193</b>	<b>2,118</b>	<b>2,320</b>	<b>4,439</b>	<b>186</b>	<b>10%</b>	<b>59</b>	<b>3%</b>	<b>245</b>	<b>6%</b>
<b>営業利益</b>	<b>113</b>	<b>132</b>	<b>245</b>	<b>163</b>	<b>154</b>	<b>317</b>	<b>50</b>	<b>45%</b>	<b>21</b>	<b>17%</b>	<b>72</b>	<b>29%</b>
営業外損益	10	16	27	14	17	32	4	-	0	-	5	-
<b>経常利益</b>	<b>123</b>	<b>149</b>	<b>272</b>	<b>178</b>	<b>172</b>	<b>350</b>	<b>55</b>	<b>45%</b>	<b>22</b>	<b>15%</b>	<b>77</b>	<b>29%</b>
特別損益	△ 27	△ 6	△ 34	△ 2	△ 18	△ 20	24	-	△ 11	-	13	-
<b>当期純利益</b>	<b>58</b>	<b>93</b>	<b>152</b>	<b>117</b>	<b>115</b>	<b>233</b>	<b>59</b>	<b>101%</b>	<b>21</b>	<b>23%</b>	<b>80</b>	<b>53%</b>

・海外含めた廃棄物処理事業の拡大、多機能携帯端末向け需要の獲得などによる事業拡大に加え、製錬部門での円安効果などが寄与し、前年同期比で全事業セグメントにおいて増収増益決算となった。

・昨年10月11日公表の業績予想値との比較においても、同様に増収増益を達成した。

	業績予想値	実績	増減
売上高	4,260	4,439	179
営業利益	305	317	12
経常利益	330	350	20
当期純利益	190	233	43

# 事業環境

## ■マーケットの状況

- 廃棄物・リサイクル関連： 国内は産業廃棄物の発生量は横ばいであるが、海外はアジア中心に拡大した。
- 自動車関連： 国内生産は輸出向けも含め堅調に推移した。北米は好調な販売が持続したが、アジア地域では伸び率の鈍化がみられた。
- 電子部品・半導体関連： パソコン、テレビ、携帯電話は市場の低迷が続く一方で、多機能携帯端末関連の需要が伸張した。

## ■金属価格・為替

- 金属価格： 総じて弱含みで推移した。特に貴金属は平均2,3割程度の下落幅であった。
- 為替： 極端な円高水準の是正が定着し、100円前後で安定的に推移した。

	2012年度 平均			2013年度 平均		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替：(¥/\$)	79.4	86.8	83.1	98.9	101.6	100.2
銅：(\$/t)	7,792	7,918	7,855	7,112	7,095	7,104
亜鉛：(\$/t)	1,908	1,992	1,950	1,850	1,969	1,910
インジウム：(\$/kg)	494	505	499	565	683	624

# 主要製品の動向

※2012年度1Qを100として指数化

		2012年度				2013年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	106	110	109	115	110	119	104
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	117	130	101	110	112	119	120
	東南アジア廃棄物処理額	100	94	100	127	109	125	122	119
製錬	銀生産量 (小坂)	100	96	117	119	125	120	142	129
	亜鉛生産量 (秋田)	100	75	104	99	108	75	106	104
電子材料	化合物半導体販売量	100	83	78	59	86	94	85	95
	LED販売量	100	111	106	100	130	114	101	117
	銀粉販売量	100	59	52	69	93	83	111	109
金属加工	伸銅品販売量	100	98	87	87	98	97	103	100
熱処理	熱処理加工処理量	100	94	94	99	100	103	102	101

# セグメント別の状況

単位：億円

	2012年度実績			2013年度実績			比較増減			営業利益の増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,040	64	67	<b>1,014</b>	<b>94</b>	<b>98</b>	△ 25	30	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低濃度PCBなど廃棄物処理の展開</li> <li>・東南アジアなど海外事業展開</li> <li>・売上高の減少は金属価格の下落による</li> </ul>
製錬	2,050	46	72	<b>2,176</b>	<b>70</b>	<b>93</b>	125	23	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銅、亜鉛製錬所の稼動は順調</li> <li>・スズなど新金属の回収強化</li> <li>・円安による増益効果</li> <li>・電力代上昇によるコスト増加</li> </ul>
電子材料	713	57	65	<b>832</b>	<b>67</b>	<b>78</b>	118	9	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LEDや銀粉など成長市場向け拡販</li> <li>・情報通信用の機能材料は在庫調整</li> </ul>
金属加工	739	48	51	<b>822</b>	<b>53</b>	<b>56</b>	82	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載用途の端子やコネクタが堅調</li> <li>・産業機械向けの回路基板が増加</li> </ul>
熱処理	245	15	16	<b>246</b>	<b>22</b>	<b>21</b>	0	7	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外自動車生産の増加に応じた海外展開</li> <li>・国内工場の生産性強化</li> </ul>
その他、 全社・消去	△ 596	11	△ 0	△ <b>651</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	△ 54	△ 2	3	
計	4,193	245	272	<b>4,439</b>	<b>317</b>	<b>350</b>	245	72	77	

# 経常利益の要因別分析

単位：億円

2012年度累計 - 2013年度累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	29	△ 6	10	5	6	△ 3	41
うち実収差量（数量差）	-	△ 14	-	-	-	-	△ 14
実収差量（単価差）	-	20	-	-	-	-	20
原料条件（為替差・ベース条件差）	-	15	-	-	-	-	15
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	2	-	-	-	-	2
電力代ほか	-	△ 15	-	-	-	-	△ 15
・減価償却費	1	7	△ 0	0	1	△ 0	8
営業利益増減	30	23	9	5	7	△ 2	72
営業外収支の影響							
・持分法損益	1	△ 8	△ 0	1	-	2	△ 4
・その他	△ 1	6	3	△ 1	△ 2	4	10
経常利益増減	30	21	12	5	5	3	77

# 財務の状況 ①

## ■ 連結貸借対照表

単位：億円

	2013年 3月末	2014年 3月末	比較増減		2013年 3月末	2014年 3月末	比較増減
流動資産	1,712	1,739	27	流動負債	1,331	1,318	△ 13
				固定負債	742	599	△ 143
固定資産	1,785	1,847	62	自己資本	1,335	1,582	246
				少数株主持分	88	87	△ 0
総資産	3,497	3,587	89	負債・純資産計	3,497	3,587	89

- ・総資産は、海外子会社の設立や時価の上昇により投資有価証券が増加し、規模が拡大。
- ・負債のうち有利子負債は、前期の1,071億円から996億円に削減。
- ・自己資本比率は、負債の返済および剰余金の増加により前期の38.2%から44.1%に向上。

# 財務の状況 ②

## ■ 連結キャッシュフロー

単位：億円

	2012年度	2013年度	比較増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>349</b>	<b>301</b>	<b>△ 47</b>
税引前当期純利益	238	329	91
減価償却費	175	167	△ 7
法人税等	△ 34	△ 91	△ 57
その他	△ 29	△ 103	△ 74
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△ 193</b>	<b>△ 186</b>	<b>6</b>
設備投資	△ 178	△ 163	15
その他投資	△ 14	△ 23	△ 8
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△ 149</b>	<b>△ 123</b>	<b>26</b>
キャッシュフロー計	6	△ 8	△ 14

・前期に続き、営業CF 約300億円を、投資に約200億円、100億円強を借入金返済および配当に充てた。

# (参考) 連結損益計算書

単位：百万円

	前期 (2012年度)			当期 (2013年度)			増減		
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	上期	下期	累計
<b>売上高</b>	193,242	226,147	419,390	211,885	232,099	443,985	18,642	5,951	24,594
売上原価	167,652	198,311	365,963	180,698	201,381	382,079	13,045	3,069	16,115
<b>売上総利益</b>	25,590	27,836	53,427	31,187	30,718	61,905	5,596	2,881	8,478
販管費、開発研究費	14,272	14,591	28,863	14,831	15,280	30,111	558	688	1,247
<b>営業利益</b>	11,318	13,245	24,564	16,356	15,438	31,794	5,037	2,192	7,230
営業外収益	2,833	3,751	6,584	2,922	3,814	6,736	89	62	152
(受取利息及び受取配当金)	( 326)	( 253)	( 579)	( 366)	( 332)	( 699)	( 39)	( 79)	( 119)
(持分法投資利益)	( 1,189)	( 1,935)	( 3,125)	( 930)	( 1,741)	( 2,672)	(△ 258)	(△ 194)	(△ 452)
(その他の収入)	( 1,316)	( 1,562)	( 2,879)	( 1,625)	( 1,739)	( 3,364)	( 308)	( 177)	( 485)
営業外費用	1,812	2,058	3,871	1,425	2,049	3,475	△ 387	△ 8	△ 395
(支払利息)	( 866)	( 830)	( 1,697)	( 761)	( 755)	( 1,517)	(△ 104)	(△ 75)	(△ 179)
(持分法投資損失)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
(その他の費用)	( 946)	( 1,227)	( 2,174)	( 663)	( 1,294)	( 1,957)	(△ 283)	( 66)	(△ 216)
<b>経常利益</b>	12,338	14,938	27,277	17,853	17,202	35,055	5,514	2,263	7,778
特別利益	412	54	466	195	294	490	△ 216	240	24
(固定資産売却益)	( 88)	( 24)	( 112)	( 29)	( 45)	( 74)	(△ 58)	( 20)	(△ 37)
(投資有価証券売却益)	( -)	( -)	( -)	( 55)	( -)	( 55)	( 55)	( -)	( 55)
(受取補償金)	( 262)	( 12)	( 275)	( 83)	( -)	( 83)	(△ 179)	(△ 12)	(△ 192)
(その他)	( 61)	( 17)	( 78)	( 27)	( 249)	( 277)	(△ 33)	( 232)	( 198)
特別損失	3,157	735	3,893	457	2,100	2,557	△ 2,700	1,364	△ 1,336
(固定資産除却損)	( 226)	( 379)	( 606)	( 142)	( 255)	( 397)	(△ 84)	(△ 124)	(△ 209)
(固定資産処分損)	( -)	( -)	( -)	( -)	( 1,457)	( 1,457)	( -)	( 1,457)	( 1,457)
(投資有価証券評価損)	( 2,552)	( -)	( 2,552)	( -)	( -)	( -)	(△ 2,552)	( -)	(△ 2,552)
(減損損失)	( 58)	( 64)	( 122)	( 48)	( 3)	( 52)	(△ 9)	(△ 60)	(△ 70)
(事業構造改善費用)	( -)	( 457)	( 457)	( -)	( -)	( -)	( -)	(△ 457)	(△ 457)
(災害損失)	( 147)	(△ 90)	( 56)	( 246)	( -)	( 246)	( 98)	( 91)	( 189)
(その他)	( 172)	(△ 74)	( 98)	( 19)	( 383)	( 402)	(△ 152)	( 457)	( 304)
<b>税金等調整前当期純利益</b>	9,592	14,257	23,850	17,592	15,397	32,989	7,999	1,139	9,139
法人税等	3,649	4,560	8,210	5,688	3,855	9,544	2,039	△ 704	1,334
少数株主損益	111	314	426	169	△ 35	134	57	△ 349	△ 292
<b>当期純利益</b>	5,831	9,382	15,213	11,733	11,576	23,310	5,902	2,194	8,096
<b>減価償却費</b>	7,996	8,990	16,987	7,684	8,521	16,205	△ 311	△ 469	△ 781

# (参考) 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	2013年 3月末	2014年 3月末	比較増減	科 目	2013年 3月末	2014年 3月末	比較増減
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>	171,287	173,998	2,711	<b>流動負債</b>	133,125	131,803	△ 1,322
現金・預金	6,163	5,857	△ 305	支払手形・買掛金	42,403	34,502	△ 7,901
受取手形・売掛金	71,829	71,838	8	短期借入金	52,514	41,521	△ 10,993
棚卸資産	80,282	77,773	△ 2,509	コマーシャルハ゜-ハ゜-	-	10,000	10,000
繰延税金資産	3,287	4,713	1,425	社債(一年内)	-	10,000	10,000
その他流動資産	9,783	13,893	4,110	未払法人税等	5,353	7,630	2,276
貸倒引当金	△ 59	△ 77	△ 18	地金リース債務	9,519	2,953	△ 6,566
				その他流動負債	23,335	25,196	1,861
<b>固定資産</b>	178,500	184,719	6,219	<b>固定負債</b>	74,260	59,927	△ 14,333
有形固定資産	103,647	103,890	243	社債	10,000	-	△ 10,000
無形固定資産	11,217	11,841	624	長期借入金	44,623	38,142	△ 6,481
投資有価証券	56,187	61,612	5,425	退職給付引当金	10,990	12,230	1,239
繰延税金資産	3,976	3,527	△ 449	繰延税金負債	2,969	2,940	△ 29
その他の投資	3,638	3,988	349	その他固定負債	5,676	6,614	937
貸倒引当金	△ 165	△ 139	26	<b>(負債合計)</b>	<b>207,386</b>	<b>191,730</b>	△ 15,655
				<b>(純資産の部)</b>			
				<b>株主資本</b>	125,291	144,910	19,619
				資本金	36,437	36,437	-
				資本剰余金	26,362	26,362	-
				利益剰余金	68,180	87,806	19,626
				自己株式	△ 5,688	△ 5,695	△ 6
				<b>その他の包括利益累計額</b>	8,302	13,343	5,040
				その他有価証券評価差額金	8,990	10,947	1,956
				繰延ヘッジ損益	89	315	226
				為替換算調整勘定	△ 777	2,604	3,381
				退職給付調整額	-	△ 523	△ 523
				<b>少数株主持分</b>	8,807	8,733	△ 73
				<b>(純資産合計)</b>	<b>142,400</b>	<b>166,987</b>	24,586
<b>資産合計</b>	<b>349,787</b>	<b>358,717</b>	8,930	<b>負債・純資産合計</b>	<b>349,787</b>	<b>358,717</b>	8,930
				有利子負債	107,138	99,663	△ 7,474
				現金・預金	6,163	5,857	△ 305
				実質残高	100,975	93,806	△ 7,169
				自己資本比率	38.2%	44.1%	5.9%
				ROA	8.1%	9.9%	1.7%

# (参考) 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	2012年度	2013年度	増 減
<b>I. 営業キャッシュフロー</b>			
税引前当期利益	23,850	32,989	9,139
調整項目（非キャッシュ）			
減価償却費	17,504	16,725	△ 779
持分法投資損益	△ 3,125	△ 2,672	452
事業転換、減損損失	580	52	△ 527
有証、固定資産除・売却損益	528	1,728	1,200
投資有価証券評価損	2,552	-	△ 2,552
引当金の増減額	663	418	△ 245
利息（受取・支払）、配当金	1,566	3,265	1,698
法人税等	△ 3,432	△ 9,133	△ 5,701
その他	915	△ 87	△ 1,002
<b>PL項目合計</b>	<b>41,603</b>	<b>43,286</b>	<b>1,683</b>
資産・負債の増加減少			
売上債権、仕入債務	△ 4,859	△ 7,796	△ 2,936
棚卸資産の増減	△ 6,837	3,020	9,857
その他	5,063	△ 8,322	△ 13,385
<b>BS項目合計</b>	<b>△ 6,633</b>	<b>△ 13,097</b>	<b>△ 6,464</b>
<b>(合計)</b>	<b>34,970</b>	<b>30,189</b>	<b>△ 4,780</b>

フリーキャッシュフロー 17,098 13,858 △ 3,240

	2012年度	2013年度	増 減
<b>II. 投資キャッシュフロー</b>			
設備投資	△ 17,871	△ 16,330	1,540
有価証券売却・取得	△ 1,742	△ 2,271	△ 529
貸付金	△ 310	△ 651	△ 340
固定資産売却	643	95	△ 547
その他	△ 74	468	542
<b>(合計)</b>	<b>△ 19,354</b>	<b>△ 18,689</b>	<b>664</b>
<b>III. 財務キャッシュフロー</b>			
借入金・社債増減	△ 11,466	△ 8,264	3,202
自己株式取得・株式発行	△ 1	△ 6	△ 4
配当金	△ 3,167	△ 3,754	△ 586
その他	△ 346	△ 315	31
<b>(合計)</b>	<b>△ 14,982</b>	<b>△ 12,341</b>	<b>2,641</b>
現金等に係る換算差額	261	433	171
現金等の増加	894	△ 408	△ 1,302
（新規連結、連結除外）	446	102	△ 344
現金等の期首残高	4,788	6,129	1,341
現金等の期末残高	6,129	5,823	△ 306

(参考)  
有利子負債残高 107,138 99,663 △ 7,474

# 2014年度の見通し

単位：億円

	2013年度 実績	2014年度 業績予想	比較増減
売上高	4,439	4,700	260
営業利益	317	365	47
経常利益	350	380	29
当期純利益	233	250	16

## ■ マーケットの見通し

### ➤ 廃棄物・リサイクル関連

国内市場は横這い、アジアでの廃棄物・土壌浄化・リサイクル需要は拡大継続を見込む。

### ➤ 自動車関連

国内自動車生産はほぼ前年並みの状況、海外生産は北米やアジアマーケット中心に拡大を見込む。

### ➤ 電子部品・半導体関連

多機能携帯端末や新エネルギー関連の市場は拡大、液晶テレビはやや増加するもののパソコン向けは減少傾向が続く見込み。

# 2014年度 前提条件と感応度（年間）

感応度（営業利益/年）

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	100.0 円/\$	±1 円/\$	<b>380</b>
銅	6,500 \$/t	±100 \$/t	<b>30</b>
亜鉛	2,000 \$/t	±100 \$/t	<b>400</b>
インジウム	600 \$/kg	±100 \$/kg	<b>600</b>

※ 感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

為替、金属価格比較

	2013年度 平均		2014年度 見込		(参考) 直近
	上期	通期	上期	通期	4月平均
為替：(¥/\$)	98.9	100.2	100.0	100.0	102.6
銅：(\$/t)	7,112	7,104	6,500	6,500	6,671
亜鉛：(\$/t)	1,850	1,910	2,000	2,000	2,031
インジウム：(\$/kg)	565	624	600	600	720

# セグメント別の状況

単位：億円

	2013年度実績			2014年度 見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,014	94	98	<b>1,070</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	55	5	1
製錬	2,176	70	93	<b>2,270</b>	<b>87</b>	<b>103</b>	93	16	9
電子材料	832	67	78	<b>880</b>	<b>76</b>	<b>82</b>	47	8	3
金属加工	822	53	56	<b>830</b>	<b>60</b>	<b>62</b>	7	6	5
熱処理	246	22	21	<b>290</b>	<b>32</b>	<b>30</b>	43	9	8
その他、全社・消去	△ 651	8	2	△ <b>640</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	11	1	0
計	4,439	317	350	<b>4,700</b>	<b>365</b>	<b>380</b>	260	47	29

# 投資の状況

単位：億円

	2011年度 実績			2012年度 実績			2013年度 実績			2014年度 見込		
	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計									
環境・リサイクル	54	4	58	58	4	62	56	4	60	60	4	64
製 錬	51	7	59	28	6	35	30	9	39	20	9	29
電 子 材 料	41	29	70	36	28	65	31	26	58	25	27	52
金 属 加 工	16	3	19	19	4	23	28	4	33	40	5	45
熱 処 理	42	2	44	40	3	43	21	3	24	40	3	43
全社、その他	7	0	6	17	0	16	20	0	19	15	0	14
合計	213	46	259	201	46	247	188	46	235	200	50	250

## (参考) 減価償却費

	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 見込
環境・リサイクル	50	47	47	45
製 錬	60	50	43	38
電 子 材 料	27	27	26	28
金 属 加 工	23	22	22	24
熱 処 理	16	17	17	18
全社、その他	4	4	4	9
合計	183	169	162	165

### 2013年度の主な設備投資

環境・リサイクル：東南アジア廃棄物処理 増強、  
低濃度PCB廃棄物 前処理設備建設  
電子材料：高出力LEDチップ 増産

---

## **2. 各事業の状況と 今後の取り組み**



## 2014年度の見通し (前年同期比)

◆ **廃棄物処理** 売上高 上期：85% 下期：110%

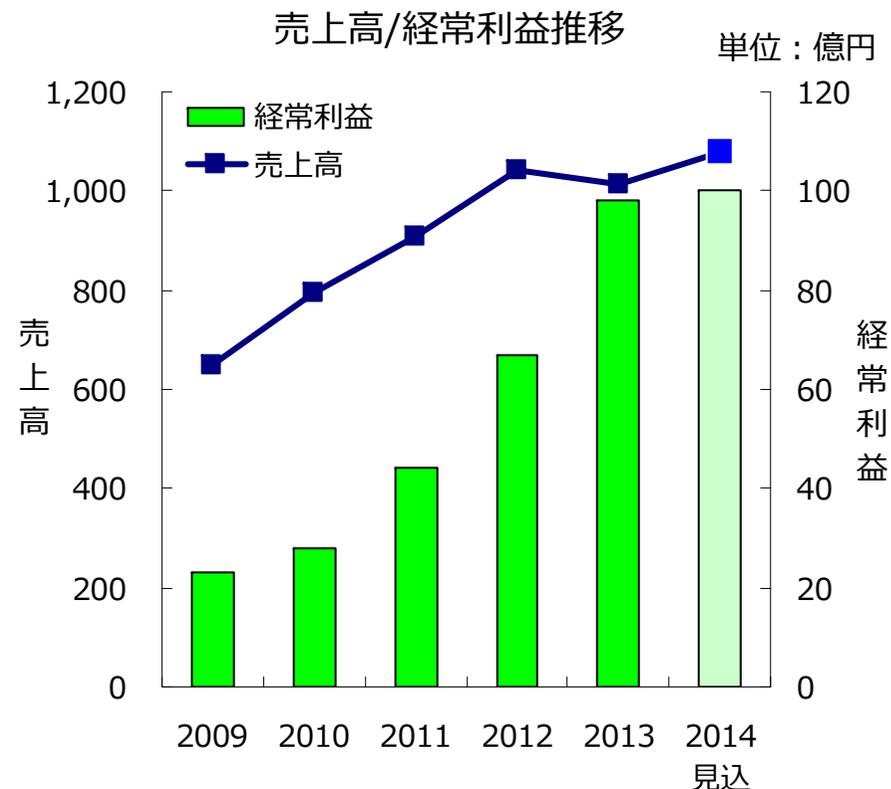
(景気の緩やかな回復に伴い廃棄物発生量は堅調)

◆ **土壌浄化** 売上高 上期：170% 下期：120%

(公共投資や不動産市況の活発化に伴い案件増)

◆ **リサイクル** 売上高 上期：100% 下期：100%

(国内微減も北米・アジアからの集荷増)



## 今後の取り組み

- **廃棄物処理**
  - ・関東エリアを中心に集荷を拡大、増処理
  - ・低濃度PCB廃棄物の集荷体制を強化、集荷先の多様化
- **土壌浄化**
  - ・インフラ整備に伴う低濃度汚染土壌対応を強化
- **リサイクル**
  - ・グローバルなリサイクル原料集荷拡大へ取り組み継続
- **東南アジア**
  - ・インドネシアおよびタイでの石油掘削汚泥処理事業拡大
  - ・最終処理施設の新規拠点展開へ向けた取り組み強化

# 廃棄物処理事業の拡大

## ■ 日本国内

- ・エコシステム千葉において、2013年度は計画通り前年比+20%の増処理を達成
- ・秋田、山陽を含めて引き続き高稼働率を維持し、2014年度約10%の増処理を計画

⇒国内景気の回復を取り込み、廃棄物処理事業の収益力を強化

## ■ 東南アジア

- ・インドネシアに加え、2014年度からタイでも石油掘削汚泥処理事業を開始

⇒東南アジアでの資源開発・製造業進出による廃棄物市場拡大を確実に取り込む

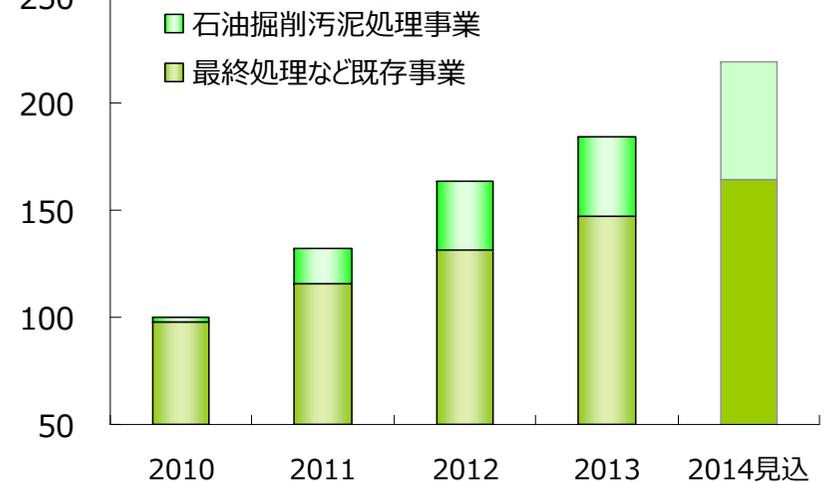
中間処理量の推移（国内3工場計）

※2012年度上期を100として指数化



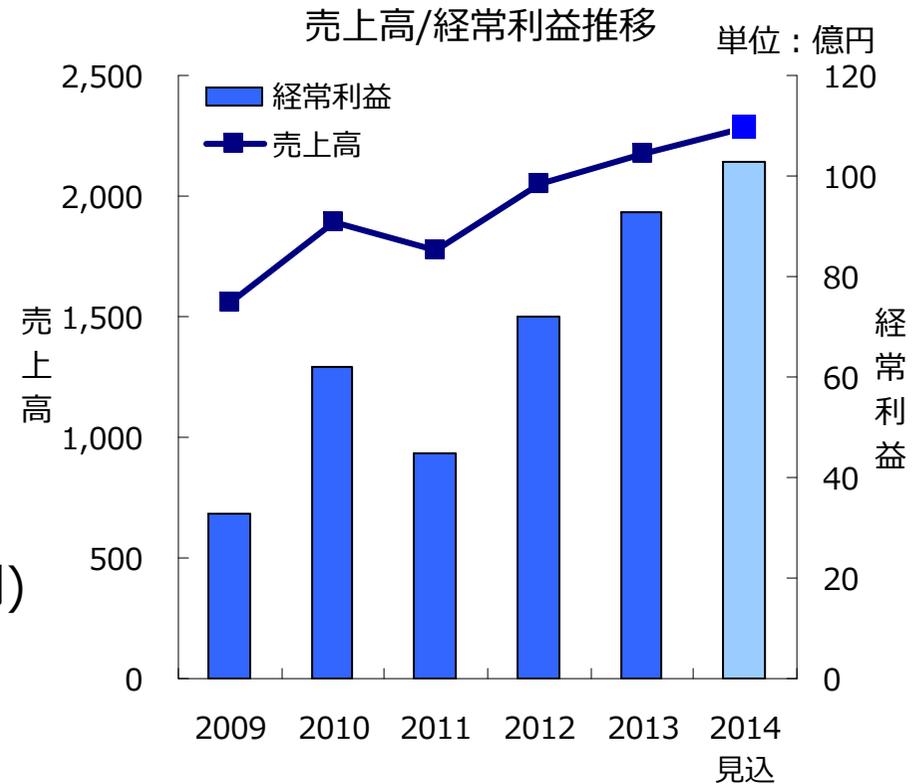
MAEHグループ売上高の推移

※2010年度を100として指数化



## 2014年度の見通し (前年同期比)

- ◆銅 販売量 上期:95% 下期:105%  
(内需は建設・自動車向けともに微減)
- ◆PGM 原料集荷量 上期:110% 下期:115%  
(北米など海外からの積極集荷)
- ◆亜鉛 販売量 上期:105% 下期:105%  
(自動車向けなど内需微減、アジア向け堅調)



## 今後の取り組み

- 貴金属銅
  - ・小坂製錬：TSL炉におけるリサイクル原料処理拡大
  - ・買鉱条件の改善による収益アップ
- PGM
  - ・海外集荷の拡大と設備改善による増処理
- 亜鉛
  - ・亜鉛、インジウム増産による秋田製錬の競争力強化
  - ・タイ亜鉛加工工場の本格稼働
- 資源
  - ・パルマー銅亜鉛プロジェクト：探鉱による確認鉱量の拡大

# 製錬事業の基盤強化

## ■タイ亜鉛加工工場の立ち上げ

2013年11月 建設工事完工

→試運転、許認可取得を経て2014年3月より本稼働

めっき用調合亜鉛：前倒しでI-ザ-認定取得・本格出荷へ

ダクタイル用亜鉛合金：車載向け中心に堅調な引き合い

亜鉛線：タイ国内を中心にマーケティング



本格稼働開始 ⇒ タイを中心に東南アジア市場へ拡販

## ■資源確保への取り組み ~パルマー探鉱プロジェクトの推進

・選鉱試験の結果、特に亜鉛精鉱について良好な精鉱品質を確認

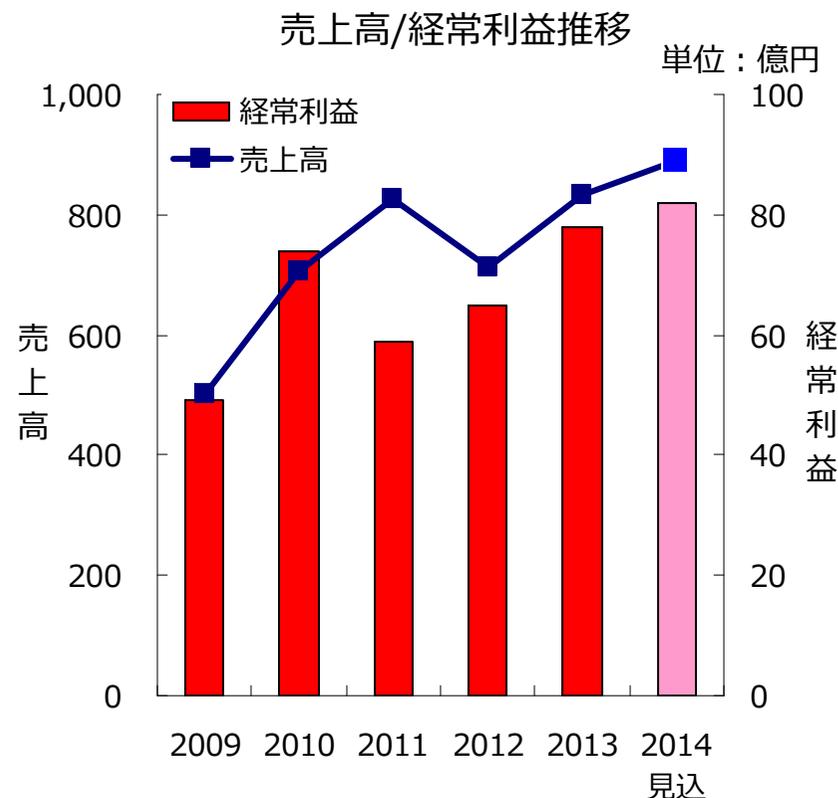
・探鉱についても、既存鉱量とポテンシャルを確認（確認鉱量約5.5百万トン）

⇒引き続き鉱量確保・鉱山開発を目指す

秋田製錬など自社製錬所向けの原料確保による自山鉱比率の向上

## 2014年度の見通し (前年同期比)

- ◆ **半導体**      売上高 上期:100% 下期:115%  
(センサー向けLED需要堅調)
- ◆ **電子材料**   銀粉販売量 上期:130% 下期:110%  
(電極材料向けの需要堅調)
- ◆ **機能材料**   ｽﾌﾟﾙ粉売上高 上期:105% 下期:140%  
(データテープ向けの需要は回復)  
                    ｷｬﾘｱ粉売上高 上期:105% 下期:95%  
(オフィス用複合機市場はほぼ横ばい)



## 今後の取り組み

- **半導体**
  - ・近接センサー・医療センサー向け高出力LEDの生産体制増強
  - ・窒化物半導体の生産性向上と新規ユーザーからの認定取得
- **電子材料**
  - ・銀粉の生産能力増強と新規開発によるラインナップ拡充
- **機能材料**
  - ・データテープ向け次世代記録材料の開発推進
  - ・オフィス用複合機向けキャリア粉の特性改善と新規ユーザー認定の取得
- **新規開発**
  - ・燃料電池向け電極材の拡販と、導電性合金粉などの開発推進

# 導電性材料への取り組み強化

## ■ 電極材料向け銀粉

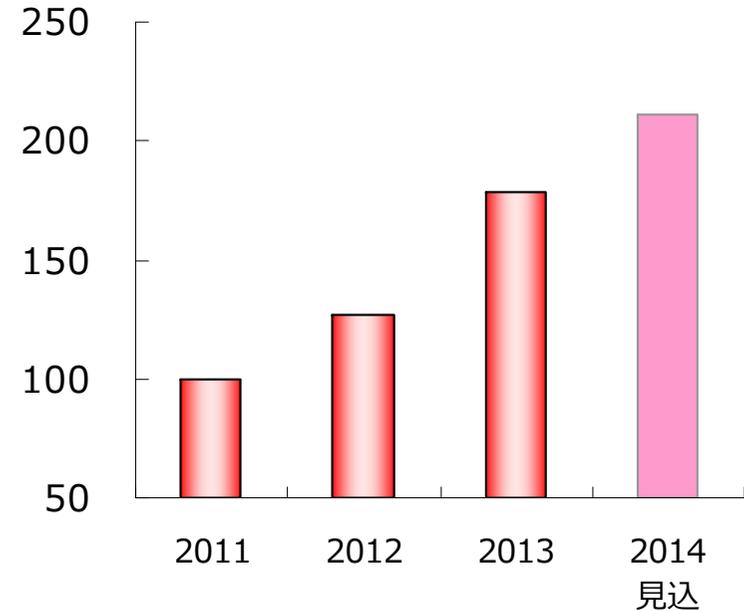
- ・新エネルギー関連の用途を中心に、市場は年率10%以上の高成長を継続
  - ・増産に向けた設備増強と次世代品開発を進め、さらなるシェア拡大に取り組む
- ⇒2014年度の販売量は、前年比+20%を計画

## ■ 新規開発品

- 基板の材質や厚みの変化、回路の細線化に伴い、要求特性が多様化
- ⇒新規開発品において抵抗値や焼結温度の低下など特性改善を進め、用途開拓と早期事業化を目指す
- ・ナノ銀：微細配線材料、はんだ代替接合材料、フレキシブル基板向け低温焼結電極材料など
  - ・合金粉：タッチパネル向けなど、各種電極材料

銀粉 販売量の推移

※2011年度を100として指数化



導電性合金粉



## 2014年度の見通し (前年同期比)

◆**伸銅品**      **販売量**    上期:105% 下期:100%

(自動車向けは海外生産を中心に堅調、  
PC向け横ばいも、スマートフォン向け堅調)

◆**貴金属めっき**    **加工収入** 上期:100% 下期:100%

(自動車向けは海外生産を中心に堅調)

◆**回路基板**      **売上高**    上期:110% 下期:110%

(産業機械向けは回復基調、電鉄向けは拡大)

## 今後の取り組み

### ■伸銅品

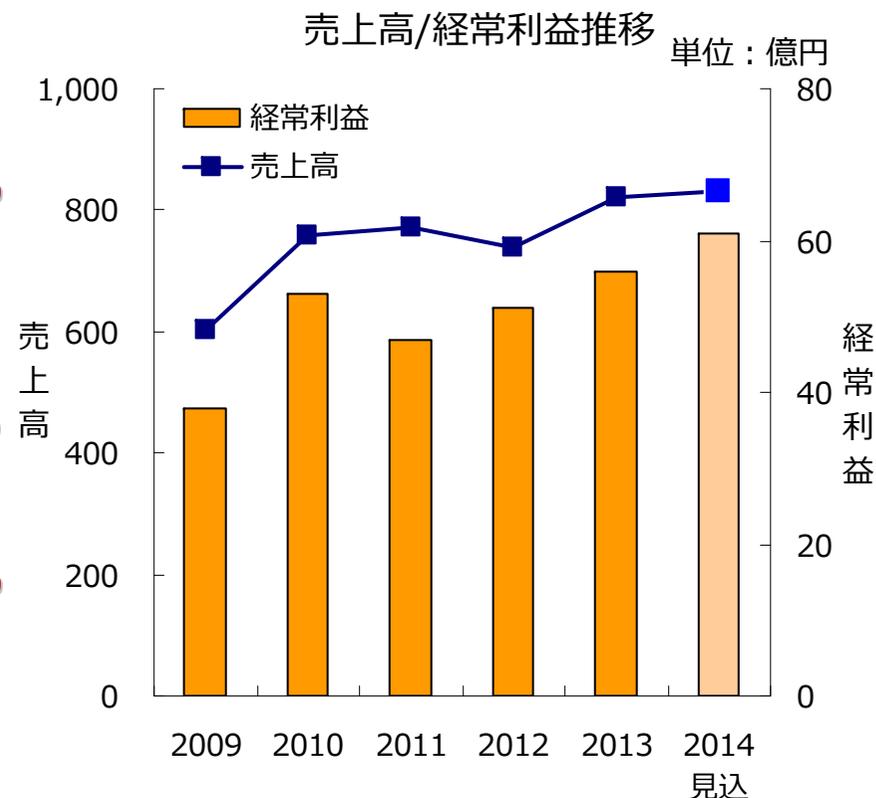
- ・ハイブリッドカー向けなどの高特性銅合金の特性向上と拡販
- ・半導体・電子部品向け：コネクタ材料の生産性向上と新規ユーザーへの拡販

### ■貴金属めっき

- ・タイでの生産拡大による東南アジアでの現調化ニーズの取り込み
- ・部分めっき技術の向上による拡販、ハイブリッドカー等向け新規開発

### ■回路基板

- ・産業機械向けや電鉄向け基板の特性改善、拡販
- ・高特性基板の特性改善、新規開発



# 伸銅品事業の取り組み

## 今後の施策と2014年度の見込み

### 【DOWAメタル製品】

- ・ハイブリッドカー、電気自動車をはじめとする車載向け高特性銅合金の開発と拡販
- ・中国、タイの生産拠点等を活用した、現調化ニーズの着実な取り込み
- ・歩留り向上等によるコスト競争力強化、生産性改善

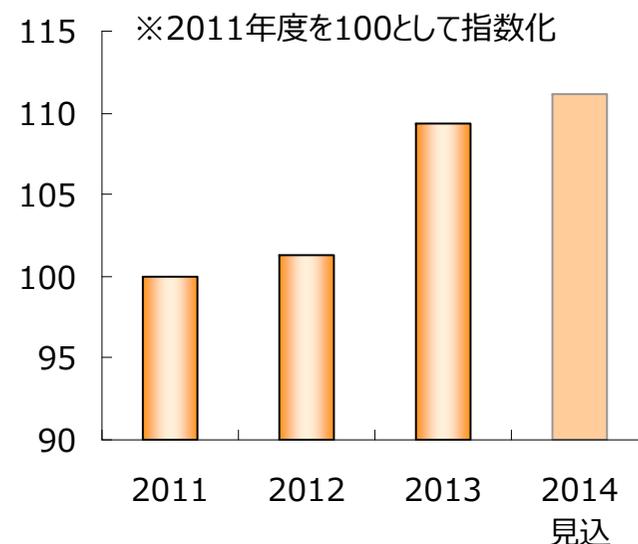
⇒ 車載向け中心に堅調な販売を継続

### 【DOWAメタニクス製品】

- ・新規ユーザーへの拡販によるスマートフォン向けコネクタ材のシェア拡大と、車載向けなど新規分野の開拓
- ・新生産ライン稼働による生産性向上、コスト競争力強化

⇒ 2014年度は前年比10%増の販売を見込む

DOWAメタル製品 販売量推移



DOWAメタニクス製品 販売量推移



引き続き、成長分野への製品展開と拡大するアジア市場での事業強化を進める

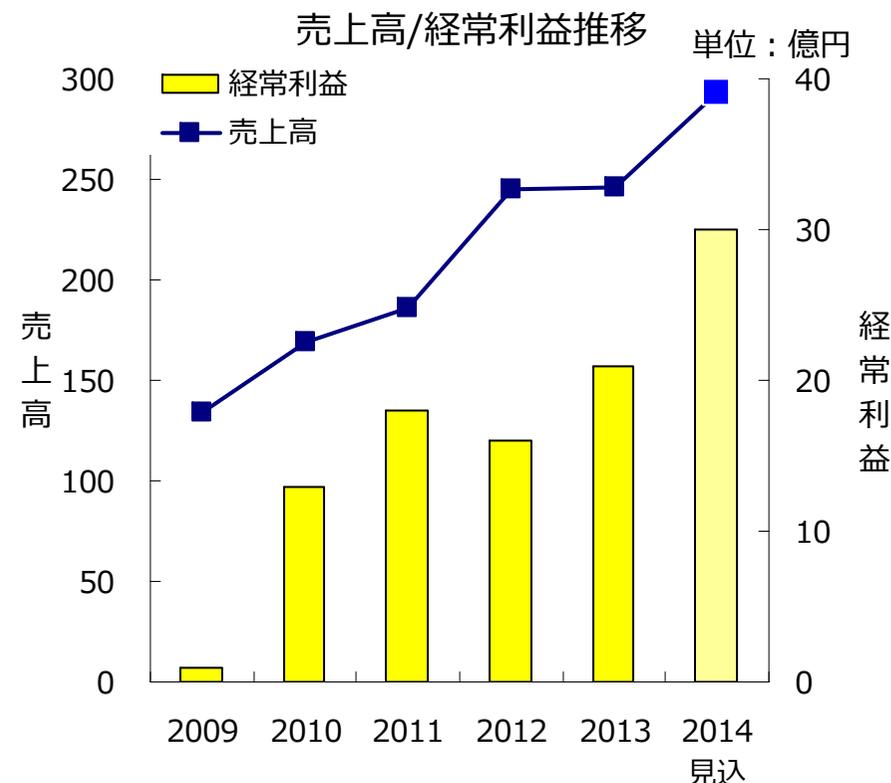
## 2014年度の見通し (前年同期比)

◆ **工業炉**      売上高 上期:145% 下期:125%  
 (海外生産向けの新炉需要堅調)

◆ **熱処理**      売上高 上期:110% 下期:110%  
 (自動車向けは国内外ともに拡大、建機向けは横ばい)

## 今後の取り組み

- **海外事業**
  - ・2013年立上げのインドネシア拠点の設備増強、生産能力拡大
  - ・タイ、インドネシア、インド、中国の拠点を活用したアジア全域での事業拡大
- **国内事業**
  - ・自動車向けを中心とした新規案件の受注による熱処理工場の稼働向上
  - ・工場間の熱処理ライン統合等による収益力強化
- **研究開発**
  - ・低コスト、小ロット生産が可能な熱処理炉の開発、製品化



# 海外での事業拡大

## インドネシア

- ・2013年度下期より現地子会社で熱処理、工業炉設置工事、メンテナンス事業を開始
- ・2014年度は、更に工場拡張、設備増強（熱処理炉8基→14基）を計画

## タイ

- ・日本からの移管品の取り込みによる拡販
- ・近隣諸国での炉メンテナンスの受注拡大
- ・さらなる工場拡張への取り組み

## アメリカ

- ・2013-2014年度、工場拡張し熱処理炉5基増設  
→日系メーカー次期モデル部品の受注拡大

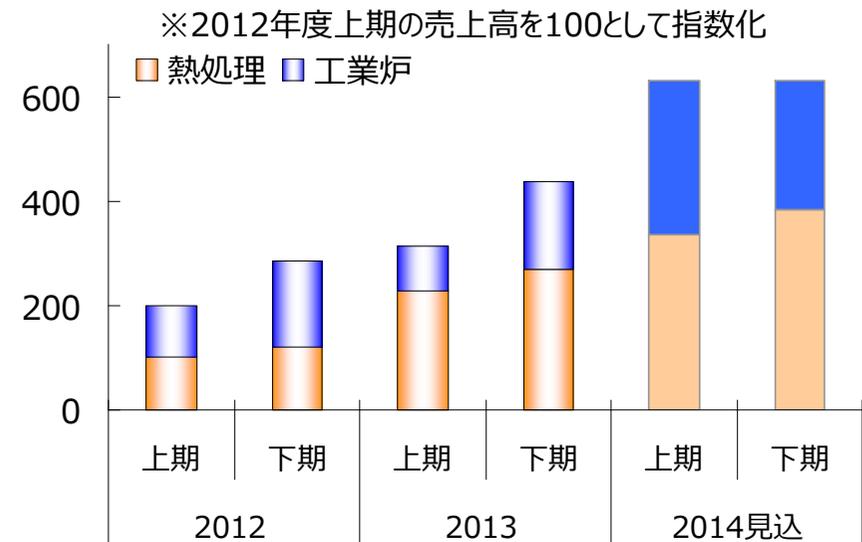
## インド

- ・バンガロール拠点を中心とした生産能力強化

DOWAサーモテックインドネシア  
(インド・ハイトンプ社製の設備を導入)



## 海外拠点の売上高推移



⇒ アジア・北米を中心に成長が続く自動車市場をターゲットに、海外事業展開を加速

# 経常利益・当期純利益の推移

